

暴風と融雪に伴う被害防止対策について

気象災害対策H29-12
平成30年2月28日
農林総合研究センター

I 気象概況

2月28日5時48分、金沢地方気象台から「暴風と高波及び雷に関する石川県気象情報 第2号」が発表されました。

それによると、3月1日には前線を伴った低気圧が日本海を発達しながら北東に進む見込みで、1日から2日にかけて暴風、高波、また落雷や竜巻などの激しい突風、加えて、1日は気温が高くなるため、急激な雪解けによる浸水等にも注意が必要です。

被害拡大を最小限に留めるため、作業時の安全確保を徹底した上で、下記の対策を実施して下さい。

II 農作物の管理対策

1 麦類

① 排水溝の点検

速やかに融雪水を排除するため、圃場巡回を実施し、排水溝が機能しているか、不足していないか確認を行う。必要に応じて、排水溝の手直しや追加設置を行う。

② 追肥の施用

融雪後は2月27日発行の「雪害及び融雪遅延に伴う農作物管理情報」に準じて、速やかに追肥を施用する。

2 野菜・花き

(1) 施設野菜

① パイプハウスを密閉し開口部からの風の進入を防ぐとともに、ゆるんだハウスバンドを締め直すなどハウスの点検・補修を行う。

- ② 雪害を防ぐためにビニールを切ったハウスは、天井のビニールを取り除くなどビニールのバタツキを防ぐ。

(2) 露地野菜

気温の上昇に加え、降雨等で雪解けが進むことが予想されるため、積雪があるほ場では融雪水が停滞しないよう排水溝を点検し、速やかな排水を促す。

3 果樹

ぶどうの加温作型ではハウス被覆が始まっている。

- ① 被覆途中のハウスは、サイドも併せ早急に張り終える。張り終えられない場合は、風の抜け道を確保するか、ビニールを外す。
- ② 被覆済みのハウスは、ゆるんだハウスバンドを締め直すなど点検、補強に努める。
- ③ パイプの接合部にゆるみがないか点検し、ゆるんでいる場合はしっかり固定する。
- ④ 収納されている防風ネット等を点検し、必要に応じて再度結束し直すなど補強する。

4 畜産

- ① 畜舎内に風が吹きこまないように、窓、戸等の損傷箇所は速やかに補修する。
- ② 暴風時は風向きを考慮し畜舎の開口部を最小にして、換気扇を稼働させて換気を行う。
- ③ 畜舎への雨水の侵入を防ぎ、配合飼料・乾草等は濡れて変質しないよう安全な場所に移動する。
- ④ 停電によって搾乳ラインやバルククーラーが止まることが予想される場合は、緊急時の発電機の確保しておく。

暴風と高波及び雷に関する石川県気象情報 第2号

平成30年2月28日05時48分 金沢地方気象台発表

(見出し)

石川県では、3月1日は海上で非常に強い風が吹き、1日から2日にかけて、大しけとなる所がある見込みです。暴風や高波に警戒してください。また、落雷や竜巻などの激しい突風にも注意してください。

(本文)

[要因]

3月1日は、前線を伴った低気圧が日本海を発達しながら北東に進む見込みです。このため、低気圧や前線に向かって非常に強い風が吹き、気温が上昇し、まとまった雨となるでしょう。2日は、強い冬型の気圧配置となる見込みです。

[風の予想]

石川県では3月1日にかけて、海上では非常に強い風が吹くでしょう。予想される最大風速(瞬間風速)は、

陸上 18メートル(30メートル)

海上 25メートル(35メートル)

[波の予想]

石川県では3月1日にかけて、大しけとなるでしょう。3月1日にかけて予想される波の高さは、6メートルの見込みです。

その後も2日にかけて、しけや大しけとなる所があるでしょう。

[防災事項]

3月1日は暴風に、1日から2日にかけては高波に警戒してください。

3月1日は落雷や竜巻などの激しい突風のおそれがあります。屋外活動などには十分注意してください。また、発達した積乱雲の近づく兆しがある場合には、建物内に移動するなど安全確保に努めてください。

また、3月1日は気温が高く、積雪の多い所では、なだれや雪解けによる低地の浸水、土砂災害、河川の増水に注意してください。

[特記事項]

この情報は、「暴風と高波及び雷に関する石川県気象情報」を引き継ぐものです。

今後、気象台の発表する警報、注意報、竜巻注意情報、気象情報等に留意してください。

[情報の発表予定]

次の「暴風と高波及び雷に関する石川県気象情報」は、28日17時頃に発表する予定です。